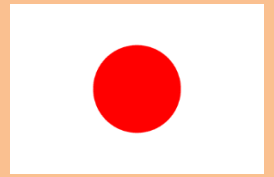
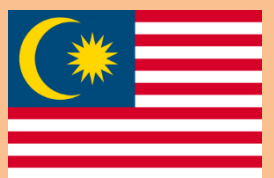




2019年度 アセアン中学生 招聘交流事業



■事業趣旨

日本とアセアン加盟国青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

■実施関係機関

主催 国立青少年教育振興機構

協力 アスジャ・インターナショナル、アスコジャ

■招聘期間・受入施設

日程 2019年11月18日(月)～11月26日(火)8泊9日

受入施設 国立中央青少年交流の家(静岡県)

■参加者

招聘者 アセアン加盟国5カ国の中学生及び引率者 35名

(フィリピン、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア)

中学生 各国6名(2003年4月2日～2006年4月1日生まれの者)

引率者 各国1名

日本人 国立中央青少年交流の家が募集する中学生

日付	内容
11月18日	参加者到着 オリエンテーション 成田山新勝寺見学
11月19日	都内中学校訪問 国立中央青少年交流の 家へ移動 ウェルカムパーティー
11月20日	市長表敬訪問 スキー体験 富士山講和
11月21日	野外炊事 茶道体験
11月22日	地方中学校訪問 ホームステイ
11月23日	ホームステイ 日本文化体験(餅つき)
11月24日	ディスカッション、 フェアウェルパーティー 小田原城見学 都市へ移動 (新幹線体験)
11月25日	スカイツリー見学 浅草散策 皇居見学 秋葉原散策
11月26日	出国

市長へ表敬訪問を行いました。市長から御殿場への歓迎と、滞在期間がより充実したものになるようにと激励のメッセージを頂きました。



富士山2合目にあるスキー場でスキー体験をしました。初めて雪に触れる子がほとんどということもあり、スキー体験をする前から大興奮でした。

日本文化体験の一つとして「茶道体験」を行いました。お茶や和菓子は好評でしたが、慣れない正座に苦労していました。



都市での活動の一つとして東京スカイツリーに行きました。展望デッキの「ガラス床」からの眺めに大興奮の様子でした。

都内中学校 訪問

都内の中学校である、都立桜修館中等教育学校では歓迎セレモニーを行った後、4クラス分かれてSDGs「14.海の豊さを守ろう」に関するディスカッションを行いました。最後には「We are the World」を同校の生徒とアセアン参加者で合唱を行い、絆が深まりました。



歓迎セレモニーでは、中学校の生徒がソーラン節を披露してくれました。



ディスカッションの様子。



中学校の生徒とアセアン参加者全員で合唱をしている様子。

御殿場市内 中学校訪問

御殿場市立西中学校と御殿場市立南中学校に分かれて訪問しました。中学校では国ごとに文化の紹介を行った後、2人1組で各クラスに入り1日授業体験を行いました。



歓迎セレモニーの際にじゃんけん列車を行い交流を深めました。



教科書は中学校の生徒に見せてもらいながら授業を行いました。



体育の授業も一緒に体験しました。



中学校の生徒と机を並べて給食を食べました。

プレゼンテーション

SDGsのテーマを踏まえ、各国の環境問題やその問題に対する取り組みについて紹介しました。それぞれの国が抱える問題を通してお互いの国の理解を深めました。



自国が抱える環境問題について発表しました。



円卓を囲みプレゼンテーションを行いました。

フェアウェルパーティー

アセアン参加者が各国の文化を紹介すると、参加者から大きな拍手が巻き起こりました。参加者はホストファミリーと一緒に食事をとりながら、楽しいひと時を過ごしました。



ホストファミリーと同じテーブルで食事を食べました。



各国で踊りなどを披露しました。

ホームステイの様子

30人のアセアン参加者は20組のホストファミリーに分かれ1泊2日のホームステイを行いました。どの家族ともそれぞれ楽しい思い出ができました。



一緒に夕食作りを行いました。写真は「たこ焼き」をつくった様子。



ホストファミリーと一緒に、ゲームなどをして、楽しい時間を過ごしました。



地元の名所などへもホストファミリーと一緒に行きました。

日本人参加者の活動

日本人参加者は当日プレゼンテーションや交流を行うだけでなく事前研修や事後学習を行いました。事前研修ではプレゼンテーションの準備や、ウェルカムパーティーの準備を行いました。



ウェルカムパーティーにて英語で歓迎の挨拶をする様子。



日本の昔遊びである、けん玉やあやとりなどを教えました。

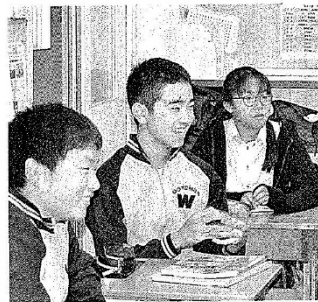


プレゼンテーションも英語で行いました。

アセアン指導者からの感想

- ◆行きたいところに行くことができ、多くの日本文化を体験し、大いに楽しみ学ぶことができました。子どもたちが日本文化を学ぶとてもよい機会となりました。
- ◆学校での授業体験では、子どもたちだけでなく引率者も、日本の学校についての理解を深めることができました。
- ◆子どもたちは新幹線に初めて乗りましたが、動画などで見るのとは違い、新幹線の速さには驚かされました。
- ◆ボランティアの大学生たちが、活動の時間に間に合うよう促したり、手伝ってくれたりして大変助かりました。
- ◆大浴場は新鮮な経験となりました。浴槽に入れられない子どもたちにはシャワーを準備してもらえて助かりました。

新聞掲載



西中学生と交流するアセアンの中学生

文部科学省、国立青少年教育振興機構は22日、御殿場市立西・南両中学校でアセアン加盟国5か国の中学生と日本の中学生の交流を実施した。職業は、アセアン加盟国青少年を招待して日本の季節に根ざした文化を知ってもらい、地元の子どもたちとの国際交流で、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年、日本とアセアン諸国の発展に寄与する人材の育成などが目的。今回は、マレーシア、カンボジア、フィリピン、アルネイ、インドネシアの5か国の中学生、3年生

30人が来市し、国立中央青少年交流の家に宿泊しながら折り紙や和菓子作り、富士山の樹海散策、飯沼欽さんなどの体験活動、若林洋平市長への表彰状贈呈などを行った。西中学校では、マレーシア人から食料や数学科、技術科などの授業や学校給食などを通して西中学生と交流した。アセアン加盟5か国の生徒は22、23両日、御殿場、裾野、小山2市1町の中学生の20家族に長泊し、日本の日常生活を体験する。

アセアン加盟国の中学生
西、南両中学生と交流

令和元年11月23日 岳麓新聞